



与論小だより



ブログはこちら

校訓：至 誠【 真心をもって人に尽くす 真心をもって事にあたる 】

学校教育目標の達成を目指して

校長 岩元 輝美



「ピッカピカの1年生」20人が与論小に入学しました。どの子の瞳も輝いていて、これからの学校生活に胸を膨らませていることがよく伝わってきます。また、2年生から6年生もそれぞれ進級し、気持ちも新たに「よし頑張るぞ」という表情になっています。令和5年度、与論小学校は、8学級、児童110人（前年4月比+8人）、教職員17人でスタートしています。

本校では、昨年度から学校教育目標を「校訓『至誠』を胸に、未来に挑む子供の育成」としました。

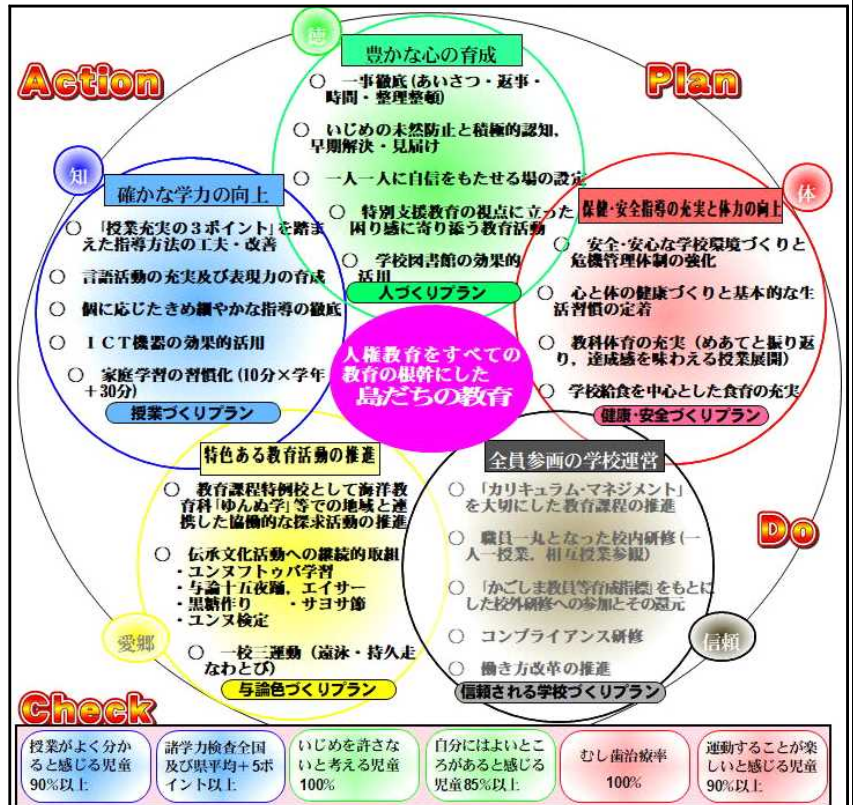
ご存知のとおり「至誠」とは、これ以上ないほどに誠実であること、真心を意味する言葉です。中国の古典「孟子」の有名な言葉に「至誠而不動者未之有也（至誠にして動かさざる者は未だこれ有らざるなり）」とあり、真心をもって接すれば、どんな人でも動かせる力があるということを意味しています。そして、与論小学校では、「至誠」を不偏不朽の教育理想とし、生涯教育の根本と考え、校訓として受け継いできたのです。社会の変化が加速度を増し、複雑で予測困難となってきている中でも絶対に繋いでいくべき考えである校訓「至誠」を、学校教育活動等を通して子供たちの胸に刻み続けていきたいと願い、学校教育目標の前段に「校訓『至誠』を胸に」を据えました。

また、今後いかなる時代が来ようとも子供たちはその中で生きていかねばなりません。そのために、今、学校教育には、子供たち一人一人が、自分のよさや可能性を認識するとともに、様々な人々と協働しながら、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となれるよう、その資質能力を育成することが求められています。それらの資質能力をもって、子供たちがそれぞれの未来に挑んでいってほしいと願い、学校教育目標の後段に「未来に挑む」を据えました。

また、学校教育目標を具現化するために、オリンピックの五輪をモチーフに、5つのプランを掲げました。（右図）5つのプランは、人権教育をすべての教育の根幹としており、与論町が掲げる「島だちの教育」を目指すものでもあります。さらに、知・徳・体それぞれの数値目標を2つずつ設定して、結果にコミットするよう努力してまいります。

以上、様々な思いや願いを込めて、令和5年度の学校教育目標及びブランドデザインを設定しました。子供たち一人一人の個性が輝き、希望に満ちた未来が切り拓かれることを信じて、教職員一同尽力してまいります。保護者・地域の皆様の御理解と御支援どうぞよろしくお願い申し上げます。

なお、学校教育目標及びブランドデザイン及びその思いについては、学校ホームページにも掲載していますのでご覧ください。



ホームページはこちら